

編集・発行：◎倉敷芸術科学
大学図書館(〒712-8505
岡山県倉敷市連島町西之浦
2640 TEL.086-440-1181
FAX.086-440-1182)

編集・発行責任者：
館長 時任 英人
(芸術学部教授)

館報は図書館ホームページ
でも読めます。
http://www.kusa.ac.jp/lib/
MAIN.HTML



題号の由来

孔子と弟子たちの言行を取録した『論語』の「子曰、『学而不思則罔。思而不学則殆。』(『先生が言われた、『学んでも考えなければ、はっきり理解できない。考えても学ばなければ、確かなものとならない。』の意)による。読みは日本語の音読みとした。初代学長故谷口澄夫先生の筆による。

2006年2月22日午前10時、ヨンセ(延世)大学図書館を訪問しました。この大学図書館を取材した理由は、4年前に見学した際、その規模が大きいにもかかわらず整然とした利用状況を見て、一度お話を聞いてみたいと思ったからです。

春休み中にもかかわらず学内と図書館は学生であふれ、活気に満ちていました。図書館の説明と案内は主任のイーさんがしてくれました。

ヨンセ大学は、歴史的に2つの母体が統合されたもので、まず1885年に設立された「済衆院」(病院)が最初で、これが1899年に韓国最初の医学学校の「済衆院医学学校」となりました。1904年には、L・H・セペラスからの寄付金で近代式な「セペラス病院」を竣工し、「セペラス医学専門学校」に改編された後、1947年に「セペラス医科大学」に改編されました。一方、もう1つの母体となるのが1915年に設立された「朝鮮キリスト教大学」で、これがのちに「ヨンヒ専門学校」として発展し、1946年に大学に昇格。現在の「ヨンセ大学」は、1957年、これら「セペラス医科大学」と「ヨンヒ大学校」が統合され、新しく発足したものです。今日ヨンセ大学は、韓国の3大学(他の2つはソウル大学、高麗大学)の1つと言われるま

でになっており、受験生や国民から高い信頼を得ています。現在学生数は、大学院生をいれて3万5千人で、図書館は蔵書数が170万冊、1日の入館者が7千人。早速、関心のあることからお聞きしました。まず第1に、情報処理センターと図書館との関係について質問すると、韓国内では、大学図書館と情報処理センターとの合併がすでになされているか、あるいは進行しつつある大学がいくつかあり、ヨンセ大学の地方キャンパスのウォンチュ分校でも「学術情報所」という組織に合併されているそうです。しかし、ヨンセ大学本校では具体的に議論されたことはな

いというものでしたが、これは図書館の規模が大きいく、最先端の機能を装備しているため、独自に動くことができるからではないかと思われるます。

次に日本の大学でも導入が検討されている電子ジャーナルについてお聞きしました。まず大学図書館として2万6千冊のタイトルを持ち、雑誌

ヨンセ(延世)大学 図書館訪問記



図書館長 時 任 英 人

が電子ジャーナル化されるとすぐに図書館の担当者がリストを作成して教員に回し、同意を得た上で契約をするということですが、とくにこのことは若い教員から支持されており、では年配の教員は反対かといえはそうではなく、支持はしているということでした。また、書庫の余裕や、図書館スタッフの数(スタッフは分館をいれて36名おり、不足部分はアルバイトを使用)から判断して、電子ジャーナルの導入を推進することについては職員サイドも支持しているというところのようです。

かといつて、図書館の予算が削減されているかと言えはそうではなく、予算は長期的には増えており、これは学生の志願者が年々増えていくことが原因です。また、図書館の予算は、希望通りに承認されているそうです。要するに、電子ジャーナルの導入は、徹底した「効率性」の要請に基づいているためであり、閲覧者は各研究室だけでなく、自宅からも利用できることになり、しかも雑誌に当てるスペースも小さくて済む

ことになるために推進されているそうです。また、「効率性」という考えは、図書館が利用する際にも発揮されています。つまり、学生の図書館の利用はカードを使って、自習室の席取りを含めてスムーズに推進されています。それゆえ、学生は図書館に入館すると同時に直ちにカードで登録し、自分の利用したい場所の予約ができます。

今回もとても感心したのは、大学当局が図書館の利用について学生に対する便宜を重視し、学生からの苦情は図書館のホームページに書き込んでもらい、それを確認した図書館員、あるいは図書館長や大学の総長が直ちに対応するということでした。それゆえ、学生の不満の多くが解消されるということでした。また、総長が、毎日図書館を訪れ(この日も私が館内を案内されている時、総長にお会いしました)、いろいろなアドバイスをされるということでしたが、これほどの規模の図書館でここまで学生に対して細かい配慮がなされていることは驚きました。これらのことも含めてこの巨大な大学図書館が日々活発に動いていることに畏敬の念をもったほどです。

そうした学生からの要請で10年前に実現を見たのが、24時間図書館を利用できるというシステムです。座席489

1席のうちの700席をこれに当ててますが、それもカードを使って予約するということでした。そのことから見まして、試験期間中や論文(レポート)の締め切り前後には、利用度が極めて高いものと思われまます。

以上のようなことから、ヨンセ大学の図書館は、学生の勉学と教員の研究を日々サポートするための機能を十分に果たすことで大学内の地位を高めているということが理解できました。

倉敷芸術科学大学の図書館も、少しでもそうした大学図書館に近づけようとは考えておりますが、大学の独自性や図書館の位置づけなどによって事情が異なってくるのはいたし方のないことです。しかし、本学図書館をさらに充実させるために、いろいろと参考にさせていただこうと思っております。

倉敷芸術科学大学の図書館も、少しでもそうした大学図書館に近づけようとは考えておりますが、大学の独自性や図書館の位置づけなどによって事情が異なってくるのはいたし方のないことです。しかし、本学図書館をさらに充実させるために、いろいろと参考にさせていただこうと思っております。

倉敷芸術科学大学の図書館も、少しでもそうした大学図書館に近づけようとは考えておりますが、大学の独自性や図書館の位置づけなどによって事情が異なってくるのはいたし方のないことです。しかし、本学図書館をさらに充実させるために、いろいろと参考にさせていただこうと思っております。

倉敷芸術科学大学の図書館も、少しでもそうした大学図書館に近づけようとは考えておりますが、大学の独自性や図書館の位置づけなどによって事情が異なってくるのはいたし方のないことです。しかし、本学図書館をさらに充実させるために、いろいろと参考にさせていただこうと思っております。

倉敷芸術科学大学の図書館も、少しでもそうした大学図書館に近づけようとは考えておりますが、大学の独自性や図書館の位置づけなどによって事情が異なってくるのはいたし方のないことです。しかし、本学図書館をさらに充実させるために、いろいろと参考にさせていただこうと思っております。



ヨンセ(延世)大学図書館

教育動物病院スタート

生命科学部生命動物科学科

学科主任

古川 敏紀



日本で飼育されているイヌが1300万頭、ネコが1100万頭、その他の動物を合わせますとすでに3000万頭の動物が飼われているということ、皆さんご存知ですか？この数字、すでにわが国における子供の数をはるかに上回っているのです。

倉敷芸術科学大学生命動物科学科の教育動物病院は昨年春の学科開設と同時にスタートしました。とは言いましても届出の認可が終わりませんでした、6月末。さらにまだ認可を受けなければいけない事



動物病院

柄がありました。それは、今年1月に無事認可をうけたので、本格的なスタートは今春になります。獣医大学以外の大学がこのような形の動物病院を持つこと自体は特に珍しいことではないのですが、特色を持った実用的な病院としては全国的にも珍しく、このため開設当初よりたくさんの方の見学者に来ていただいています。設備面ではとくに動物の眼科に重きを置いていますので、このことから獣医大学からの見学者も多く、すでに4獣医大学の関係者が見学に見えておられます。

さて館内の案内を簡単にしますと、1階には病院の玄関、リネン室、そして学生のための更衣室があります。そして一般動物室としてイヌ、ネコの飼育室もこの階にあります。どちらも動物のケージ内にはへパフィルターを通した清浄な空気が送られるようになっており、飲料水も水道水をさらにきれいな水にして動物が飲めるような構造に

なっています。2階にあげりますとまずは受付、そして二つの診察室と共用の診療室、臨床検査室、それに眼科検査室があります。この病院の特徴としてどの場所にも監視カメラがあります。この監視カメラは監視の目的だけではなく、実は実習用に役立つように作ってあります。動物を使つての実習などは動物の周りにはいる学生にはよく見えるのですが、それ以外の学生には見えないという欠点があります。そこでこの問題の解消のためにこの監視カメラは大活躍しています。この監視カメラで捕らえた映像は実習室のスクリーンに映し出せるようになっていきます。このために学生さん達は教室で仲間の学生さん達が受けている授業の様子を見ることができるようになっています。このような設備は動物の大学でも大変に珍しいもので、見学に見えた方の関心が高いようです。

さらに3階に上がってみましょう。この階にはICU(Intensive Care Unit)の部屋、CT(Computed Tomography)室、エックス線室、そして手術準備室に続く、手術室があります。「動物にCT?」といわれる方も多いのですが、実はCTは動物の世界でもすでに珍しいものではありません。地元岡山県下でもすでに数人の開業獣医の先生方がCTをお持ちですし、MRIや

PET-CTも日本の臨床獣医で使っておられる方もおられるのです。手術室は無菌環境を作り出せるようになっており、今年には人のお医者さんの学会で海外から見える招待講演者がこの施設を使つて模範的な手術の方法を紹介したいという申し込みも来ています。実現しますと医学界でも優れた設備を備えた動物の病院ということでは有名になるかもしれません。楽しみにしていることです。

最初に書きましたように今年春の稼動のために現在いろいろな活動を行っている病院ですが、のんびりとしているわけではありません。全国的にも少子化の影響で学生数が減っていますので、はやばやしていられます。今春からはさらに新しい試みもスタートしようとしています。先頭を走るといふのは大変な努力と苦しみを要求されますが、それを喜んで受けるのか、それとも嫌々なので随分と内容は違ってきます。まだ詳しい内容はここには書けません。きつと画期的な内容になるものだと確信しています。皆さんお楽しみに。

私の研究履歴

「国栄えて山河荒れ」

生命科学部 教授

河邊誠一郎



国敗れて山河あり、私が生まれた頃は日本全体が貧しく(物質的に)、経済は大変な時代でしたが、周辺の山河、自然は豊かで心安らぐ環境でした。

パソコンはもちろん、ゲーム機もテレビも、漫画さえほとんどない時代でした。私たちは自分たちで遊びを創造し、山を駆け巡り、魚を採り、蝶を追い、山野草・木の实(おやつ)を探し、自然の恵

学しました。そして、生化学の研究室で、植物色素の褪色機構について有機化合物や放射線(ガンマー線)を用いて研究をしました。そのころ、日本は不況の嵐が吹き荒れていました。食いしん坊だった私は、人間食べることは何よりも大切なこと、食品系であれば食いはぐれはないだろうと考え、医薬・酒造メーカーだった三葉オーシャン(後日、メルシャンワインとして有名になりました)に入社しました。当時、三葉は、サントロリーに押されっぱなしの弱小企業でした。しかし、折しもワインブームが始まり、やり甲斐のある仕事を任せられ(一定の品質、安上がり、しかも美味しい酒をブレンドする)、酒は飲み放題、自由な研究も保障されていて、それはそれで楽しい毎日でした。

しかし、自然派・野生児に育った身にとって、東京の通勤ラッシュやアスファルトジャングルは耐え難いものがあり、たまたま打診があった地元・岡山理科大学化学科の助手に転職することになりました。そこでは、油脂の成分研究のお手伝いをした後、新設された基礎理学科へ移りました。大学で教育と研究を続けて行くためには、博士の資格が不可欠であることから、比較的興味の対象に近く、しかも確実に研究結果が積み重ねられる分野・酵素反応の研究

を選び、土井前学長の紹介を得て、固定化酵素の研究を早稲田大学理工学部宇佐美研究室でやらせてもらいました（この大学はやる気と好奇心のある学生にとって、日本で最高の大学でした）。

首尾よく目的を果たしたのち、ライフワークとなりうる研究を模索しました。私にはやはり植物・昆虫、自然を中心にしたものしかありません。ちょうどバイオブームがやってくる直前でした。最先端の生物科学として脚光を浴び始めていた植物組織培養法を利用した大量増殖、緑化、新品種創り、薬用・有用物質の生産などを始めました。

植物は地球の全ての生き物の根幹を成すものです。植物こそが地球を救う救世主なのです。植物の潜在能力は実に偉大です。これを最大限に活かす、いかに有効に活用出来るかに人類の、地球の未来が



掛かっています。現在では資本主義・競争主義社会の風潮の中、その開発・研究も加熱気味です。特に遺伝子工学の高まり、微生物（病原性）の研究、人の欲望と倫理に反する研究の横行など、憂慮されるまでになっています。「国（文明）栄えて山河荒れ」にならねばと心配です。

折しも、新設の倉敷芸術科学大学へ移ることになり、ここで地球保全学の講義を始めました。そして、それを機に、各種の環境関連の講演、審議委員・評議委員、保護委員、そして倉敷の自然をまもる会などを任されることになりました。

今、地球環境が急速に悪化している中で、私の最終的な仕事は、これまでのさまざまな経験・知識・研究を集大成して、豊かな自然・山河作りのために、団塊の世代を中心とした仲間を集め、里山を整備し、緑を増やして、それを利用し、そこに自然基地を作り、子供たちや学生諸君に健全な自然教育を行うことに、本格的に傾斜しています。これまでお世話になった多くの方々に、また多くの影響と恵みを授けてくれた自然に対してそろそろ恩返しをしなくては、と考え始めてもいます。皆さん、一緒に、楽しく、里山の（地球の）自然環境の整備と回復に取り組んでみませんか？

学びの窓

学生達の今



私と図書館

芸術学部 工芸学科
4年 本田 美幸

大学図書館。さまざまな学生がそれぞれの目的に向かって勉強の場。私は大学図書館にそんなイメージを持っています。広く静かな空気の中で、自分の良い時間に、自分のリズムで、有意義な時を過ごせる図書館は私にとって貴重な空間でした。

大学図書館はそれまでの校図書館とは違って、多くの専門書や雑誌等がずらりと並んでおり、資料を活用した研究や今まで見向きもなかった新しい世界を知ることが十分にできる場所でした。周りを気にせず集中して勉強したい私にとって、館内2階にキヤレルコーナーが設けられたことは大変ありがたく、目的に向かって一心に取り組むことができました。



図書館正面階段上にあるオブゼ『風鈴』
工芸・デザイン学科 カスパー・ジュワーベ教授指導
製作者 中村麻祐子、林真佑子、奥村友梨

い時間励んでいても苦にはなりませんでした。

図書館の細かなところからの気配りによって、最適な環境を提供してもらえ私たちが大変恵まれており、図書館から少し足が遠ざかっている人もそうでない人も、もう一度、図書館を見つめ直してみたいように思います。

自分なりの図書館の利用方法を見つけて最大限に活用していったら、更に大学生活が充実したものになるのではと私は感じていました。

きっかけ

生命科学部 生命科学科
3年 大迫 優

私は本を読む事は別に苦になりません。本を読むと、今まで知らなかった事を知る事が出来るからです。それが楽しいし、少し賢くなった気がして嬉しくなります。それに、知識が増えると色々な人と話をするときに役に立ったりします。

どうして私が本を好きになったのか考えてみますと、小学生の時、「図書祭り」という行事があり、その中で、貸し出し数の多い人が表彰されるというコーナーがあり、そこで1位になりますと、図書委員、手作りの賞状がもらえました。この賞状は、鳳凰の部分でキャラクターになっていたりして、とても可愛いかったのが嬉しかった。また来年も、可愛い賞状を貰おうと1年間頑張って本を読みました。そして、また賞状が貰えました。しかし、今度の賞状は字を枠でかこってあるだけの可愛い賞状で、がっかりした事を覚えています。今、思えばこの些細な事が本を好きになったきっかけになったのだらうと思います。可愛い賞状を貰うために頑張った1年間は無駄ではなかったかもしれない。

どんな事でも「きっかけ」だと思っています。勉強でもテストで良い点が採れると、その教科が好きになり、また勉強を頑張ってみたりする事があります。他の人はどうだかわかりませんが、少なくとも私は、褒められたりすると、やる気が出てきます。

図書館には、色々な分野の本、新聞に雑誌、インターネットとたくさん溢れています。どれだけの人がこの文章を読んでくれるか分かりませんが、もし読んでくださった方がいらした「きっかけ」を探しに図書館にぜひ足を運んでもらいたいと思います。

私の中で図書館に



丸山真男と日本文化について

生命科学部 生命科学科
3年 眞田 裕司

日本人の思想の特殊性について、丸山真男著『日本の思想』（岩波新書）を参考に、自分なりに考察してみたいと思います。

まず、日本人の思想の材料を考えてみると、神道・仏教・儒教などを挙げる事ができます。ここで大切な事は、日本人がどれかを選ぶのではなく、思想を融合させたことです。キリスト・イスラムなどの一神教の世界では「淘汰」が起こりましたが、日本人は共存させ、さらに宗教として残したのではなく、意識の奥に文化として定着させました。一神教の世界では、その宗教哲学が人々の思想の柱になるのです、その人々から見れば、日本人は無宗教で哲学が無ないように見えているかもしれませんが、そうではないのです。

次に思想の構造を考えて見ましょう。まず一神教の世界は宗教哲学を柱とした「登り棒型」で、一本の思想の上を人生の時間の流れとともに上っていくというものだと思います。

それに対して私は、日本人の思想は、今まで吸収し、意識の奥に植えた思想を糸

と考え、分化と統合により、複雑に編み込まれている「網梯子型」の思想だと考えました。人の育つ環境により形は多様で、緻密に編まれた網だったり、穴だらけの網かもしれませんが、さらに、網には、柔軟性があり他を受け入れやすいという長所と、不安定で登りにくく、編むのに時間がかかり、到達点まで登りきりにくく、短所が、表裏一体で存在しています。



は、それを教育勸語が担っていましたが、戦後はそれが無くなり、穴の多い国民（ニート・犯罪者など）が多くなってきたと思います。そこで私は、「武士道」を教えることを提言します。世界的にも感銘を与えています。「武士道」は、神道・仏教・儒教の要素を、日本人に合うように融合させたもので、宗教でないので助言程度にとどめることができます。先人の教えを用いて、穴の少ない国民を増やすことは今日の日本にとって大きな利益となるのではないのでしょうか。

想は特殊です。生命は四十億年間、進化という多様性を武器に、地球を与えてきた試練を生き延びました。形態学的な進化はヒューマノイドで終わるかもしれませんが、しかし、人間が唯一獲得した思想については、まだ試練が待っています。これを取り切るのに、自分と異なったものを受け入れることができる、日本人の思想の特殊性は有効です。もしかすると、日本人は人類をまとめ、リーダーシップを執れる民族なのかもしれません。もっと自信を持って世界に羽ばたいていいのではないかと、思います。



「本」とは偉大、私にとって図書館とは

芸術学部 美術学科
2年 大西 絵里

「本」とは、人が拵えたと

凄いなーと思います。

でも偉大なものだと思います。好きなだけ時間をかけて、人それぞれ違った感情や創造の詰まった世界を頭のなかで自由に練り広げながら、影響を受けたり、普段日常で自分にはあり得ない世界に、誰かが考えた文章から浸ることが出来るからです。同じ文章を読んで、人とその感想や感じた世界などを発表しあってみても、違った世界が発見出来て、自分の世界も広がるかもしれません。改めて、本って

私は、中学や高校時代、本を読むという事で図書館を利用してはいませんでした。外はどんなに暑くても寒くても、雨が降っていても、蟬の声がどんなに喧しくても、図書館の中は静かで、話し声もせず、また温度はいつも快適なのです。だから、勉強をしに行くか涼みに入るかという感じで利用していました。でも、大学に入ってから随分変わりました。宝の山のようにありとあらゆる分野の本を

私は心を踊らせて見ています。沢山の画集や美術雑誌、写真集、文献を手にとって、見たこともない新鮮な世界に触れ、わくわくして、ちょっと興奮し、体温が上がります。図書館の中は、ゆっくりとした、人それぞれの時間が流れていて、新しい本、年月を経て少し古くなった本、それぞれの匂いがあり、嗅いで、心地が良くなり、疲れた心をときほぐしてくれます。

一年のときよりも、二年になってからの方が利用する頻度が増えました。制作時間や授業の時間以外は、自然に殆ど図書館で過ごしています。目についた図録や美術雑誌を見あさっては、得た情報や新しい発見を頭の隅っこで展開させたり、考えたりして、刺激を受ける毎日です。何気なくページを開いてみて、偶然飛び込んできた初めて目にす



動物科学に入ったワケ

生命科学部 生命動物科学科
1年 正山 理恵



あなたは、これまでに何か動物を飼った事がありますか？または、飼っていない動物がいますか？では、その動物の適切な飼い方、特性をあなたは言えますか？何をどのくらい与え、何をしてはいい

ないのか知っていますか？何を考え行動し、どう思いながら過ごしていると思いますか？私は、そういう事に関して、まだまだいろいろな事を知らなさすぎだと思います。今も、はつきりと覚えていません。私がまだ小学生だった

頃、私の家に初めて、動物が来ました。遊園地の帰りに、出入口の所で売っていた、ふわふわした毛並みのかわいらしいヒヨコです。親が飼ってはダメだと言うのを無理して頼み込み、妹も一緒にねだり、2匹買ってもらいました。1匹250円、2匹で500円でした。車の中でも大事にヒヨコが入っている小さい箱をかかえ、揺れのたびにその中を覗き込んで、自分を見上げる姿を見て安心したものです。家に着くと、一番に箱をあけ、膝や頭の上に乗せたり、おかゆを食わせては、その姿に私はとても満足したものでした。夜遅くまで一緒に遊び、玄関の床に、ダンボール箱をおき、新聞紙を敷き、その中に、2匹を入れて「おやすみ」と言って寝ました。それが元気なヒヨコをみた最後でした。冬の日のしかも玄関という最も風通りのよい寒い所においたのがよくなかったようです。

翌朝、朝早くおばあちゃんに起こされて玄関まで行くと、冷たくなった2匹が横た



わっていました。一匹を手に取り私はめちゃくちゃ泣きました。でも、妹は泣きませんでした。そんな妹をみて、私はとてもひどい一言を言ってしまいました。「何であんたは泣かへんの？かわいそうやと思わへんの？あんたなんか人間とちゃう」と。2匹を埋めてあげ、初めて妹は泣きました。声も無く、じっと埋めてあげた所を見つめて泣きました。その時の妹の涙を私は忘れる事ができません。私が動物を通して人と関わる仕事につきたいと強く思い始めたのも、それがきっかけなのかもしれません。

あなたは、自分の飼っている動物の事をどれくらい知っていますか？

最近は見かけなくなりましたが、遊園地などで売っているヒヨコはほぼ雄で、比較的体が弱く、大きくなるまで育つのはごくまれだそうです。私がおうちよつとしっかりといれば、その事を知っていれば……。

あなたは自分の飼っている生き物に対して、自信をもって接する事ができていますか？またはできますか？もう一度良く考えて見て下さい。それがあなたと、あなたの飼っている動物との関係をよりよくする、1つの手がかりとなるかもしれません。

近隣文化施設訪問記

成羽町美術館訪問記

レポーター 芸術学部 工芸学科 4年 斉藤 晃子

倉敷に来てもうすぐ4年が経とうとしています。段々と周りのことが見えてきて、どの場所にも何があるのか、すぐ頭に浮かび、人に説明できるようになってきました。

暮らしてみても感じたことは、岡山県には文化施設が大変多いということです。興味を持って自ら足を運びさえすれば、いくらでも私の好奇心を満たしてくれるおもしろい所が本当にたくさんあります。

その中でも、私が一番紹介したいと思うのは「成羽町美術館」です。初めて訪れた時は、美術館の建物が目的でした。コンクリートの建築で有



「登校」という絵が目に入ります。児島虎次郎といえ、すばらしい審美眼で、「大原美術館名コレクション」の収集活動を行った人というイメージが強いのですが、実際に児島虎次郎が描いた絵を見てみると、洋画家としてのイメージがそれなりに強くなってきました。色彩がとても華やかで、特に私は「鮮やかな桜色がきれいだな」と思いました。

名な安藤忠雄氏による設計で、平成6年に3代目の成羽町美術館として開館しました。美術館に到着し、まず目に入るのは旧屋敷跡の立派な石垣です。階段を少し登ると、コンクリートの壁が広がりますが、入り口らしきものは見あたりません。「あれっ」と思いながら、案内の矢印に沿ってスロープを登り、角を曲った瞬間、きれいな水面と緑の斜面が建物とつながって、ぱっと空間が切り替り、少し先に入り口が見えます。「あーすごいな」と今回訪れた時のもため息が漏れました。

受付を済ませると、すぐ児島虎次郎展示室があり、

また、同じ階には化石展示室があり、成羽地方から採集された植物群化石の展示を見ることが出来ます。一地方から多種類の化石が産出するのは世界的にも珍しく、学界から「中生代化石のメッカ」として注目されているそうです。1階のオリエント展示室には、小品や断片が多く、美術的価値の高い遺物も展示されており、大変見ごたえがありました。

成羽町美術館 案内図



今回の成羽町美術館訪問では、副館長の沢原一志さんにお話を伺うことができました。ひとつひとつ丁寧に作品の解説や、児島虎次郎について留学先でのことなど、大変わかりやすく説明していただきました。沢原さんの美術館に対する熱い想いを聞いて心から感動し、ますます成羽町美術館は発展していくと感じました。

この美術館は、どんな人にも、どこか気に入る所がひとつは見つかる、開かれた美術館だと思えます。美術館というものに興味が無い人も一度訪れて欲しい。建物にしても児島虎次郎の作品や収集されたエジプト・コレクションや、成羽の化石などの、所蔵品のすばらしさはもちろん、企画展もおもしろいものが多いようです。私が今回訪れた時は、我が校のカスポー・シユワーベ先生による「スイスの科学おもしろ展」の会期中で、とても楽しむことができました。



倉敷芸科大学生諸君!

直木賞作家 出根達郎



作家の司馬遼太郎氏は、私の学校は、図書館と古本屋だ、と言った。書物で学んだ、というのである。学校きらいであつたらしい。

私は中学を卒業すると上京し、古書店に勤めた。住み込みの店員であるから、朝八時から夜十時閉店まで、客の相手をする。

夜間の高校に行かせてもらえないか、と店主に相談した。「行かせてやりたいが、店番の交代員がいらない」と言われた。

当時は労働力不足で、だからこそ私のような中卒でさえ、引く手あまただったのである。

本の数だけ

強すぎるよ。うちには、これだけの本がある。ここが学校だよ」そして断言した。

「本の数だけ学校があり、教師がい

る」私は結局、上の学校に行かなかった。古本屋を学校に決め、店にある古書を教師に選んだ。なるほど、たくさん尊敬できる教師がいる。読めば、教師の手柄に触れられる。自分と性が合う教師を選ぶことができる。

江戸時代、全国各地に私塾があり、学問を志す若者が入門した。塾の先生を慕う、と同時に、先生の所蔵する本が目当てだった、といわれる。現代と違って本は貴重品で高価であり、誰でも持つものではなかったのである。本を読むためには、まず読みたい本を所持して、いそうな人を見つけなくてはならない。

図書館に行けば、学校があり教師がいる。無料で、自由に閲覧できる。これがいかに幸せなことなのか、実感できない現代人は不幸せかも知れない。

「図書寄贈者(個人)」

図書の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

- 一 村 稔 山本健治
- 斉 藤 成 光 山 崎 宏 暉
- 平 野 重 光 保 田 美 佐 子
- 草 野 圭 弘 河 野 昌 晴
- 鶴 野 淳 式 生 谷 吉 男
- 黒 田 哲 也 佐 藤 恒 夫
- 橋 本 利 夫 手 塚 雄 二
- 河 野 正 高 赤 木 恒 雄
- 畑 沼 圭 司 須 見 洋 行
- 浅 沼 新 吾 貝 原 孝 志
- 時 光 武 夫 三 浦 真 敏
- 船 倉 鉄 太 土 屋 幹 夫
- 忍 足 鉄 太 木 下 富 夫
- 渡 邊 さ よ 木 下 富 夫
- 木 村 正 昭 後 藤 田 光 郎
- 田 井 元 巳
- 藤 井 一 範
- 中 島 千 波
- 土 井 英 一
- 古 谷 洋 子
- 川 合 洋 子



(右敬称・書名略、寄贈順、お名前の方にさせていただきます)

図書館

06 忙々日誌

3月▽23 学位記授与式
4月▽1 人事異動(出國
正直江、滝澤好美(入)赤繁
邦昭、安田富美男、橋本直幸、▽5
入学宣誓式▽20 第五十四回中国四
国地区大学図書館協議会総会出席
【香川大学当番校(時任館長・松葉
室長代理)▽21 私立大学図書館協
会西地区部会中国・四国地区協議会
2005年度総会出席【サンポート
ホール高松(時任館長・松葉室長代
理)▽28 第九十二回全国図書館大
会岡山大会第一回運営委員会・第二
分科会へ出席(松葉室長代理)
5月▽30 岡山県大学図書館協議会
平成十八年度第一回総会出席【中国
学園大学当番校(松葉室長代理)
6月▽2 第九十二回全国図書館大

会岡山大会第二回運営委員会へ出席
(松葉室長代理)▽16 私立大学図書
館協会二〇〇六年度西地区部会総会
へ出席【広島修道大学当番校(松
葉室長代理)▽7 第一回図書委員
会開催▽6 電子情報セミナー二〇
〇六・二〇〇七へ出席【大阪(近藤
館員)
7月▽14 第九十二回全国図書館大
会岡山大会第三回運営委員会・第二
分科会へ出席(松葉室長代理)▽20
22 LINEDIO seminar 二〇〇六に
出席【大阪(近藤館員)▽24 岡山
県大学図書館協議会第二十八回研修
委員会へ出席【中国学園大学(渡邊
館員)
8月▽24 図書館報記事近隣文化施
設訪問取材の為成羽美術館訪問
【高梁市(時任館長)▽25 第九十二
回全国図書館大会岡山大会第三回運
営委員会へ出席【岡山県立図書館
(松葉室長代理)

9月▽7▽8 第六十七回私立大学
図書館協会総会・研修大会へ出席
【関西学院大学当番校(松葉室長代
理)▽6▽8 国立情報学研究所(N
I I)主催の目録システム講習会出
席【神戸大学(橋本館員)▽14▽15
第三十六回私立大学図書館協会 中
国・四国地区研究会へ出席(高松大
学当番校(渡邊館員)▽20▽22 国
立情報学研究所(N I I)主催の目
録システム講習会へ出席【岡山大学
(近藤館員)▽26 岡山県大学図書
館協議会第二十九回研修委員会へ出
席【岡山商科大学(渡邊館員)▽27
第二回図書委員会開催
10月▽12 第九十二回全国図書館大
会岡山大会第二回分科会運営委員会
へ出席【岡山県立図書館(松葉室長
代理)▽14 私立大学図書館協会主
催、二〇〇六年度西地区部会研究会
へ出席(近藤大学当番校(赤繁館員)
▽19 第九十二回全国図書館大会岡

山大会第二回運営委員会へ出席【岡
山県立図書館(松葉室長代理)▽19
第九十二回全国図書館大会岡山大会
第二回分科会スタッフ打ち合わせ会
出席【岡山県立図書館(松葉室長代
理・近藤館員)▽19▽20 第四十七
回中国四国地区大学図書館研究集
会へ出席【島根大学当番校(渡邊館員)
▽26▽27 平成十八年度第九十一回
全国図書館大会参加【岡山(松葉室
長代理、渡邊館員、近藤館員)
11月▽28 岡山県大学図書館協議会
平成十八年度(通算第三十回)研修委員
会へ出席【岡山大学(渡邊館員)▽
20▽22 第八回図書館総合展(図書
館研修会)へ出席【横浜(近藤館員)
▽16 第九十二回全国図書館大会岡
山大会第四回運営委員会へ出席【岡
山県立図書館(松葉室長代理)
12月▽11 平成十八年度図書館業務
研修会へ出席【岡山県立大学(松葉
室長代理)

山大会第二回運営委員会へ出席【岡
山県立図書館(松葉室長代理)▽19
第九十二回全国図書館大会岡山大会
第二回分科会スタッフ打ち合わせ会
出席【岡山県立図書館(松葉室長代
理・近藤館員)▽19▽20 第四十七
回中国四国地区大学図書館研究集
会へ出席【島根大学当番校(渡邊館員)
▽26▽27 平成十八年度第九十一回
全国図書館大会参加【岡山(松葉室
長代理、渡邊館員、近藤館員)
11月▽28 岡山県大学図書館協議会
平成十八年度(通算第三十回)研修委員
会へ出席【岡山大学(渡邊館員)▽
20▽22 第八回図書館総合展(図書
館研修会)へ出席【横浜(近藤館員)
▽16 第九十二回全国図書館大会岡
山大会第四回運営委員会へ出席【岡
山県立図書館(松葉室長代理)
12月▽11 平成十八年度図書館業務
研修会へ出席【岡山県立大学(松葉
室長代理)

